

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（女川原子力発電所2号炉工事計画）（250）
2. 日 時：令和3年10月22日 13時30分～18時30分
3. 場 所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

植木主任安全審査官、片桐主任安全審査官、皆川主任安全審査官、  
宮本主任安全審査官※、土居安全審査専門職、山浦技術参与

原子力規制部 原子力規制企画課 火災対策室

阿部係長※

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

堀野技術参与※

東北電力株式会社：

原子力本部 原子力部 課長、他2名

原子力本部 土木建築部 副部長、他18名※

## 5. 要 旨

- (1) 東北電力株式会社から、女川原子力発電所2号炉の工事計画補正申請のうち、「火災防護設備」、「原子炉建屋クレーンの耐震性」等について、提出資料に基づき説明があった。
- (2) これに対し、原子力規制庁は以下の点について指摘等を行うとともに、今後、説明内容について引き続き確認することとした。

<発電用原子炉施設の火災防護に関する説明書>

- 火災感知設備の機能設計の方針について、上位図書と齟齬が生じないよう整理して説明すること。

<発電用原子炉施設の火災防護に関する補足説明資料>

- 火災感知器の設置における換気口等からの離隔距離について、予防事務審査・検査基準のただし書きを適用する場合に想定される事例を整理して説明すること。

- (3) 東北電力株式会社から、(2) について了解した旨の回答があった。

なお、本面談については、事業者から対面での面談開催の希望があったため、「緊急事態宣言解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」（令和3年10月6日第36回原子力規制委員会配付資料1）に基づき、一部対面で実施した。

## 6. その他

提出資料：

- (1-1) 女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表（火災防護設備）（〇2-他-F-01-0047\_\_改5）
- (1-2) VI-1-1-7 発電用原子炉施設の火災防護に関する説明書（〇2-工-B-12-0001\_\_改5）
- (1-3) 補足-210-1 発電用原子炉施設の火災防護に関する補足説明資料（〇2-補-E-01-0210-1\_\_改6）
- (2-1) 女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表（耐震基本方針）（〇2-他-F-19-0004\_\_改50）
- (2-2) 女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表（波及的影響を及ぼすおそれのある施設の耐震性についての計算書（機器配管系））（〇2-他-F-19-0035\_\_改11）
- (2-3) VI-2-11-2-8 原子炉建屋クレーンの耐震性についての計算書（〇2-工-B-19-0140\_\_改2）
- (2-4) 補足-600-28 原子炉建屋クレーンの耐震性についての計算書に関する補足説明資料（〇2-補-E-19-0600-28\_\_改3）
- (2-5) VI-2-11-2-1 海水ポンプ室門型クレーンの耐震性についての計算書（〇2-工-B-19-0139\_\_改4）
- (2-6) 補足-600-27 海水ポンプ室門型クレーンの耐震性についての計算書に関する補足説明資料（〇2-補-E-19-0600-27\_\_改4）
- (2-7) VI-2-11-2-13 制御棒貯蔵ラックの耐震性についての計算書（〇2-工-B-19-0141\_\_改3）
- (2-8) 補足-600-30 制御棒貯蔵ラックの耐震性についての計算書に関する補足説明資料（〇2-補-E-19-0600-30\_\_改3）
- (2-9) 補足-600-2 耐震評価対象の網羅性, 既工認との手法の相違点の整理について（〇2-補-E-19-0600-2\_\_改7）
- (2-10) VI-2-1-4 耐震重要度分類及び重大事故等対処施設の施設区分の基本方針（〇2-工-B-19-0006\_\_改5）
- (2-11) 補足-600-40-2 設計基準対象施設の耐震重要度分類表について設置変更許可及び建設時工事計画認可からの変更点（〇2-補-E-19-0600-40-2\_\_改4）
- (2-12) VI-2-2-1 原子炉建屋の地震応答計算書（〇2-工-B-19-0018\_\_改6）
- (2-13) 補足-600-4 下位クラス施設の波及的影響の検討について（〇2-補-E-19-0600-4\_\_改8）（令和3年10月20日提出資料）
- (2-14) 女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表（耐震基本方針）（〇2-他-F-19-0004\_\_改49）（令和3年10月21日提出資料）
- (2-15) 女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表（耐震評価：原子炉本体基礎の復元力特性）（〇2-他-F-19-0010\_\_改9）（令和3年10月21日提出資料）

- (2-16) VI-2-3-2 炉心, 原子炉圧力容器及び原子炉内部構造物並びに原子炉格納容器及び原子炉本体の基礎の地震応答計算書 (O2-E-B-02-0006\_\_改3) (令和3年10月21日提出資料)
- (2-17) 補足-600-8-1 建屋-機器連成解析モデルの時刻歴応答解析における材料物性の不確かさ等を考慮した設計用地震力の設定について (O2-補-E-19-0600-8-1\_\_改5) (令和3年10月21日提出資料)
- (2-18) 補足-600-8-2 建屋-機器連成解析における解析モデルの設定に係る補足説明資料 (O2-補-E-19-0600-8-2\_\_改4) (令和3年10月21日提出資料)
- (2-19) 補足-600-8-3 建屋-機器連成解析モデルにおける原子炉本体の基礎の非線形復元力特性等の設定に関する補足説明資料 (O2-補-E-03-0600-8-3\_\_改5) (令和3年10月21日提出資料)
- (2-20) 補足-600-14-1 動的機能維持の詳細評価について (新たな検討又は詳細検討が必要な設備の機能維持評価について (O2-補-E-19-0600-14-1\_\_改8) (令和3年10月21日提出資料)
- (2-21) 補足-600-14-2 弁の応答加速度の算出について (O2-補-E-19-0600-14-2\_\_改6) (令和3年10月21日提出資料)
- (2-22) VI-2-1-7 設計用床応答曲線の作成方法 (O2-E-B-19-0052\_\_改3) (令和3年10月21日提出資料)
- (2-23) VI-2-1-9 機能維持の基本方針 (O2-E-B-19-0014\_\_改5) (令和3年10月21日提出資料)
- (2-24) 補足-600-6 設計用床応答曲線の作成方法 (O2-補-E-19-0600-6\_\_改3) (令和3年10月21日提出資料)
- (2-25) 補足-600-40-31 原子炉補機冷却海水ポンプの耐震性についての計算書に関する補足説明資料 (O2-補-E-19-0600-40-31\_\_改2) (令和3年10月21日提出資料)
- (2-26) 補足-600-40-40 耐震評価における流体中の構造物に対する付加質量及び応答低減効果の考慮 (O2-補-E-19-0600-40-40\_\_改5) (令和3年10月21日提出資料)

以上